

ランチオンセミナー 6

口腔内スキャナー時代の到来

～少数歯のみならずフルアーチそしてインプラント手術当日への応用まで～

一般産業界のハイテクが歯科に応用され、特にCAD/CAMの普及は目覚ましく、保険診療にまでも導入されるなどデジタルデンティストリーの進歩には目を見張るものがあります。しかし、このようにCAD/CAMシステムは完成度が高くなっているが、いまだに口腔内の印象採得から模型製作の行程は、ほとんどがアナログに頼っているのが現状です。このような中、近年、口腔内スキャナー（IOS）が進化を遂げて臨床のルーティンワークになろうとしております。演者はすでにインプラント補綴および自費補綴の印象採得は、ほぼすべて口腔内スキャナーを用いておりますので、その実際と活用法を解説したく思います。

口腔内スキャナーの利点としては、印象材の不快感、嘔吐反射に対応／印象材歪、石膏硬化歪を解消／石膏注入作業の削減／感染リスクの低減／噛みしめた状態で製作できるため咬合調整がわずかで済む／印象材、石膏、トレーなどの材料コスト削減／患者への説明などに非常に有用／インターネット利用で輸送時間短縮、遠方でも可／リアルタイムでデータを確認できる／データを3D上で自由に加工でき、CTとの重ね合わせも容易／要介護への応用／などが挙げられます。

そして、難しいとされているフルアーチへも臨床応用においても良好な結果を得ております。また、インプラントオーバーデンチャーにも応用しており3Dプリンターによる義歯製作やコピーデンチャー、そしてインプラント手術当日への応用などにも触れてみたいと思います。口腔内スキャナーの使用によりさまざまな可能性があり、まさに口腔内スキャナー時代の到来といえるでしょう。先生方のこれからの臨床のお役に立てれば幸いです。



演者

田中 譲治 先生



公益社団法人 日本口腔インプラント学会 理事・
専門医・指導医/ITIフェロー/ITISC千葉北
Director/アジア口腔インプラント学会 理事/
日本磁気歯科学会 理事/日本歯科審美学会 理事
/日本アンチエイジング歯科学会 理事/北原学
院歯科衛生専門学校 非常勤講師/柏歯科医師会
地域保健医療委員会委員



日時

12月2日(日)

11:50-12:50



会場

会場D (会議室2)

東京国際交流プラザ平成

本セミナーは整理券制です。

visit us on



 **straumann**